

第2回ゼロエミッションみえ推進本部会議 概要

- 1 開催日：令和5年3月29日（水）15時15分～15時30分
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

●安井戦略企画部長

「第2回ゼロエミッションみえ推進本部会議」を開催する。本日は「ゼロエミッションみえ」プロジェクト推進方針（最終案）についてご確認いただき、了承いただければ決定としたい。

それでは、事務局から説明をさせていただきます。

※資料について、事務局（長崎ゼロエミッションプロジェクト総括監）から説明

☆一見知事

e-fuel について、欧州が考え方を変えきていると思うが、記載されているか。

●長崎ゼロエミッションプロジェクト総括監

資料2の5ページで、2035年までに100%とすることが決定と記載しているが、欧州委員会が e-fuel を使った内燃機関については認める旨、昨日の新聞記事に出ていた。ただし、今後欧州議会の承認が必要とのことで、現時点では現在の記載内容とさせていただきます、確定してから内容を整理していきたい。

●安井戦略企画部長

それでは、この形で推進方針を決定させていただきます。今後はこの推進方針に基づいて、各部局と一緒に取り組んでいきたい。最後に知事からコメント等お願いしたい。

（一見知事）

戦略企画部が中心になって各関係部局とまとめていただいたことに感謝申し上げる。まだ動いていることが多いため、PDCA サイクルを回しながら、方針自体も変えていかないといけないこともあるかと思う。柱も現在は6つだが、場合によっては追加していくこともあるかと思う。

特にEVについては、関係者が多いため、関係者に寄り添いながら適切な対策を行っていないといけない。自動車の部品を製造しておられる県内の事業者のご意見を聞きながら、できるだけ早く対策を打ち出していくよう作業を進めてほしい。

また、再エネについては、特に洋上風力に関して、おそらく三重県では浮体式がメインになってくると思う。技術革新がないと難しいところがあるが、その動向について常にアンテナを高くして、情報収集を行うこと。さらに、設置を推進したい人と、設置を控えるべきという両方の声が出てくると思うが、県はどちらかに肩入れをすることなく、最終的に調整を行う必要があるため、よく声を聞いて対応してほしい。